

衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

平成 30. 11. 29 第 197 回国会第 2 号

11 月 29 日（木）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 高木委員長から、アドバイザー・ボードを設置することとなった旨の報告がありました。

2 原子力問題に関する件

- ・原子力規制委員会の活動状況について、更田原子力規制委員会委員長から説明を聴取しました。
 - ・磯崎経済産業副大臣、あきもと内閣府副大臣、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
- （参考人）東京電力ホールディングス株式会社代表執行役副社長 文挾誠一君
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構副理事長 田口康君

（質疑者及び主な質疑内容）

佐々木紀君（自民）

- ・原子力規制委員会の適合性審査の遅れにより国益が損なわれている。標準処理期間を設定し、原子炉安全専門審査会等を活用するなど、マンパワーを確保し、審査を効率的に進める必要があると考えるが、更田原子力規制委員会委員長（以下「更田委員長」という。）の見解を伺いたい。
- ・原子力規制委員会の審査の遅れは原子力産業の衰退に繋がるおそれがあることから、原子力規制委員会を抜本的に改革するため、原子力規制委員会設置法を見直す必要があると考えるが、環境省の見解を伺いたい。

は想定したものとなっているのか、原子力規制庁に確認したい。

足立康史君（維新）

- ・東京電力福島第一原子力発電所（以下「福島第一原発」という。）3号機における使用済燃料プールの燃料取扱設備のクレーン及び燃料取扱機等の不具合が頻発したことに対する責任について、文挾東京電力副社長及び更田委員長の見解を伺いたい。
- ・福島第一原発の多核種除去設備（ALPS）による処理後の汚染水の海洋放出について、経済産業省における検討状況及び更田委員長の基本的考え方を伺いたい。

津島淳君（自民）

- ・立地自治体とのコミュニケーションのスタンスについて、現在の更田委員長の見解を伺いたい。
- ・原子力施設の適合性審査の長期化が再稼働や運用開始の先延ばしに繋がり、立地自治体の経済に影響を与えている。また、地域住民が国への不信感を持つことも懸念されるが、こうした立地自治体の懸念の声に対する更田委員長の見解を伺いたい。

阿部知子君（立憲）

- ・ALPSによる処理後の汚染水に関して、トリチウム以外の核種が告示濃度基準を超えているものがあることを把握した時期について、更田委員長に伺いたい。
- ・原子力規制委員会は、原子力施設の安全・安心の確保のため、縦割り行政を排し、関係行政機関との連携の下で取り組む必要があると考えるが、あきもと内閣府副大臣及び更田委員長の見解を伺いたい。

中野洋昌君（公明）

- ・原子力発電所の立地地域への訪問による地元との意見交換に向けた取組の現状及び当該地元の意見を今後の原子力規制にどのように生かしていくつもりなのか、更田委員長に伺いたい。
- ・西日本豪雨、台風 21 号や北海道胆振東部地震など本年頻発した規模の様々な激甚災害について、新規規制基準

逢坂誠二君（立憲）

- ・11 月 15 日及び 16 日に原子力規制委員会が行った電源開発大間原子力発電所の現地調査の内容と今後の審査の見通しについて、原子力規制庁に伺いたい。併せて指摘されている大間北方沖断層について、今後調査の対象とするのか、原子力規制庁に伺いたい。

- ・一般の原発とフルMOX燃料による発電のコストの比較を行っているか、磯崎経済産業副大臣に伺いたい。

齊木武志君（国民）

- ・高速増殖原型炉もんじゅの燃料取り出し作業の進捗状況への評価と課題について、更田委員長に伺いたい。
- ・6月30日に行われたもんじゅの廃炉を巡る地元首長や議会関係者らとの意見交換において、更田委員長がもんじゅから出る低レベル放射性廃棄物をもんじゅの敷地内で処分する可能性に言及したが、その発言の意図を伺いたい。

浅野哲君（国民）

- ・委員長に就任してからこれまでの課題について、更田委員長の認識を伺いたい。
- ・「バックフィットの運用に関するルールや判断基準を明確化し、規制化するためのプロセスを整備すること。」とした平成29年の原子炉等規制法の改正案に対する参議院環境委員会附帯決議への対応状況と具体的事例について、原子力規制庁に伺いたい。

3 参考人出頭要求に関する件

- ・原子力問題に関する件（原子力規制行政の在り方）について、アドバイザー・ボード会員から参考人として意見を聴取することに協議決定しました。

藤野保史君（共産）

- ・日本原子力研究開発機構東海再処理施設において、冷却機能喪失、水素排気機能喪失、機器の腐食や破損が発生した場合に想定される事態について、原子力規制庁に伺いたい。
- ・日本原子力発電東海第二発電所の審査について、近接する東海再処理施設を周辺原子力施設の影響を考慮していない認可は撤回すべきと考えるが、更田委員長の見解を伺いたい。

田嶋要君（無会）

- ・日本原子力発電と周辺6市村が結んだ東海第二発電所についての新安全協定における「実質的事前了解」の意味について、更田委員長の見解を伺いたい。
- ・福島第一原発におけるALPSによる処理後の汚染水について、希釈して海洋放出する処分方法が検討されている。しかし、原発敷地外に用地を確保して汚染水を貯蔵する選択肢も検討すべきと考えるが、磯崎経済産業副大臣及び更田委員長の見解を伺いたい。